

2023年3月期 第1四半期 決算説明会

2022年7月28日

NEC ネットエスアイ株式会社

(銘柄略称：NESIC 証券コード：1973)

取締役執行役員常務 兼 CFO

関澤 裕之

2023年3月期 1Q 業績サマリー

(単位：億円)

	22年3月期 1Q	23年3月期 1Q	前年同期 差/比
受注高	837	808	△4%
売上高	677	676	△0%
売上総利益 (売上総利益率)	126 (18.7%)	121 (17.9%)	△5 △0.8pt
販売費および一般管理費	97	106	△9
営業利益 (営業利益率)	30 (4.4%)	15 (2.2%)	△15 △2.2pt
親会社株主に帰属する 四半期純利益 (四半期純利益率)	17 (2.4%)	5 (0.7%)	△12 △1.7pt
フリー・キャッシュ・フロー	219	146	△73
(参考) 受注残	1,538	1,792	+16%

戦略に沿った積極的な費用投入や、急激な為替変動等により減益

受注高：

- 今期、大型案件が2Q以降に偏重してる影響
(2Qプロスペクトは前年同期比増加)
- DX関連受注は拡大(前年同期比：約+70%)

売上高：

- 半導体/部材不足の影響(△20※)を吸収し、横ばい

※今期発生と
前期分解消(期ずれ)分の合算

利益項目：

- 想定以上の円安により調達コスト上昇(△7)
・上記影響除き、GP率は高水準の前年同期より改善継続
- 中期経営計画のもと「攻め」のコスト増加(SG&A)
・販売、新事業開発部門の強化…人件費、活動費

2023年3月期 1Q 事業内容別受注高/売上高

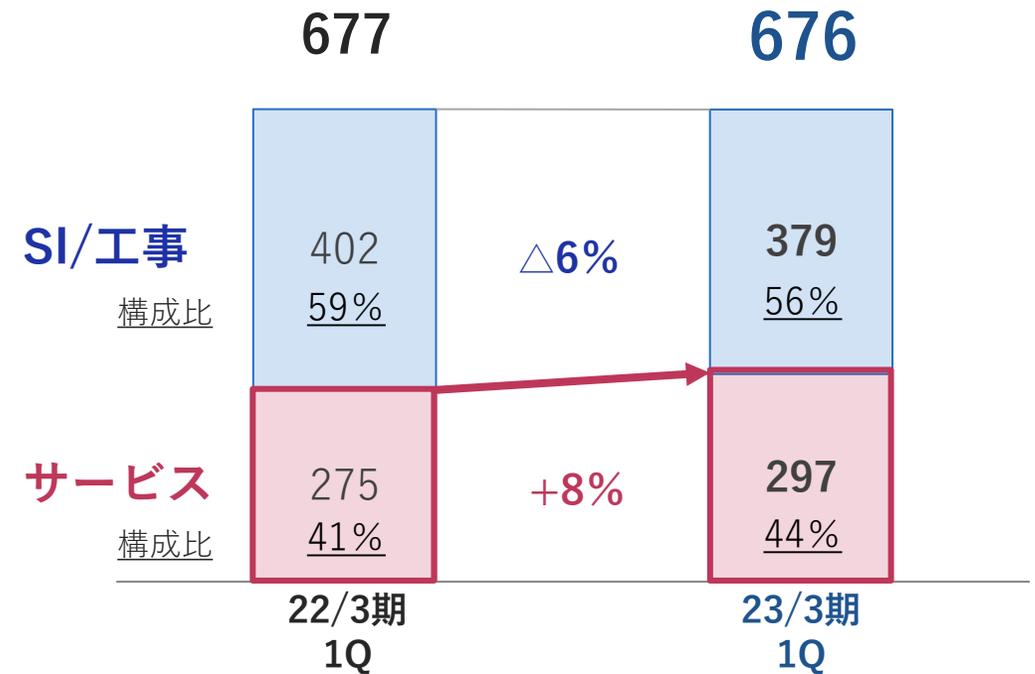
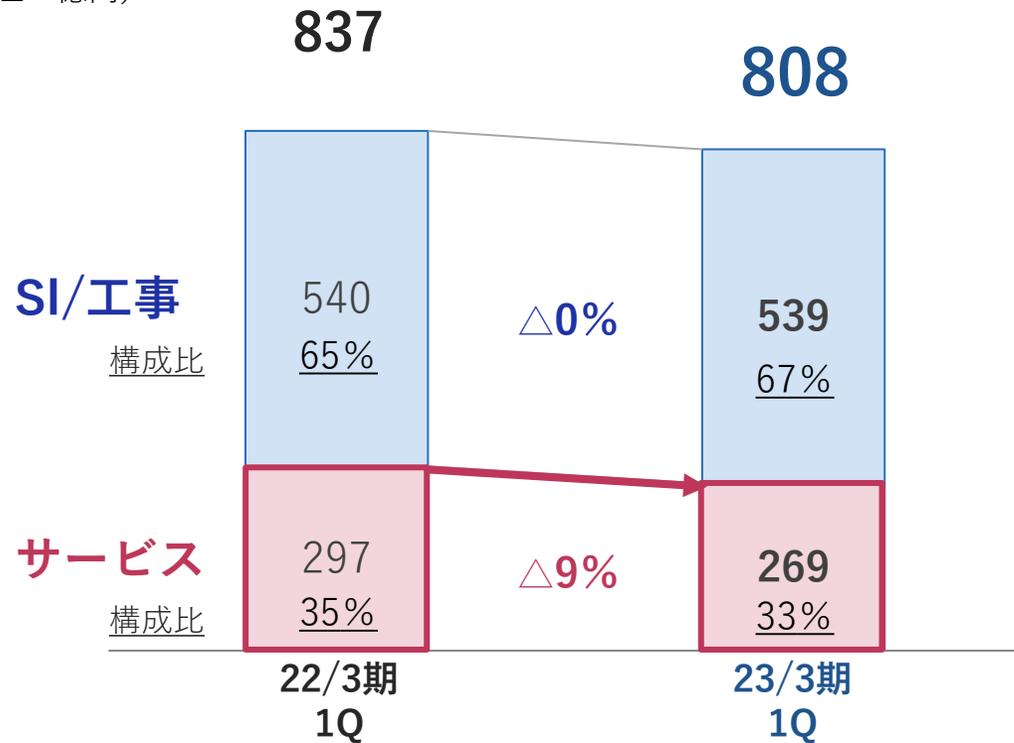
(複数年契約案件など)

サービス：受注は大型契約のタイミングで減少も売上は安定的に拡大

受注高

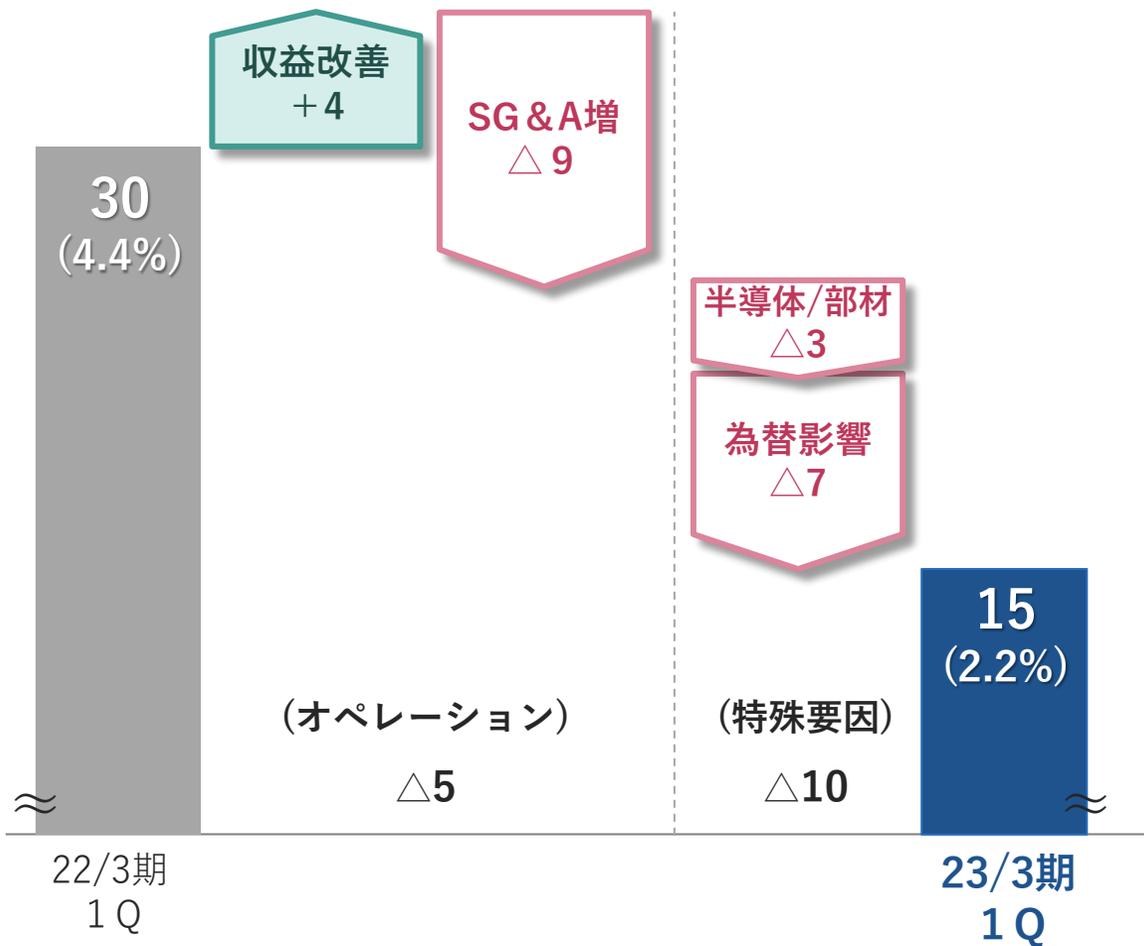
売上高

(単位：億円)

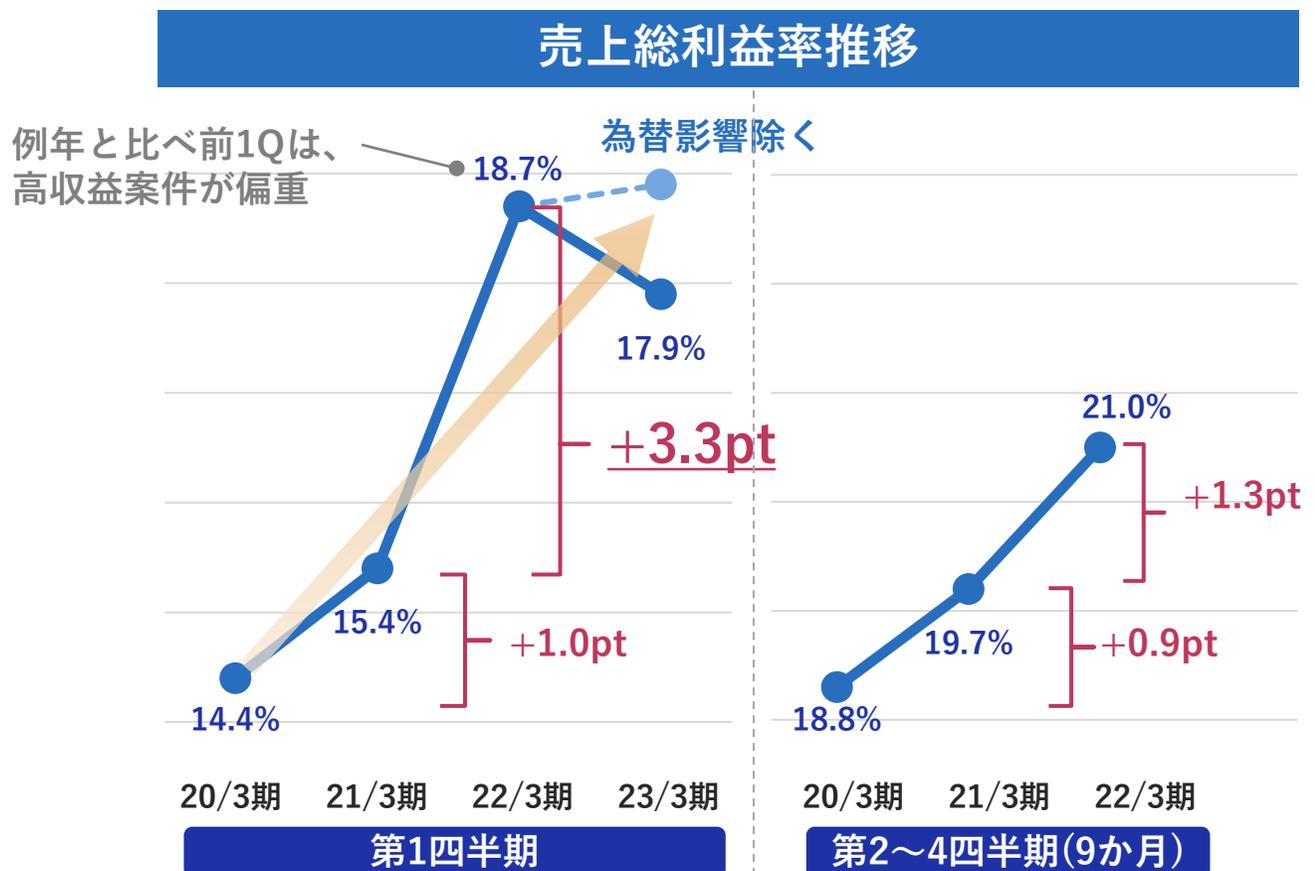


営業利益 増減要因

(単位：億円)

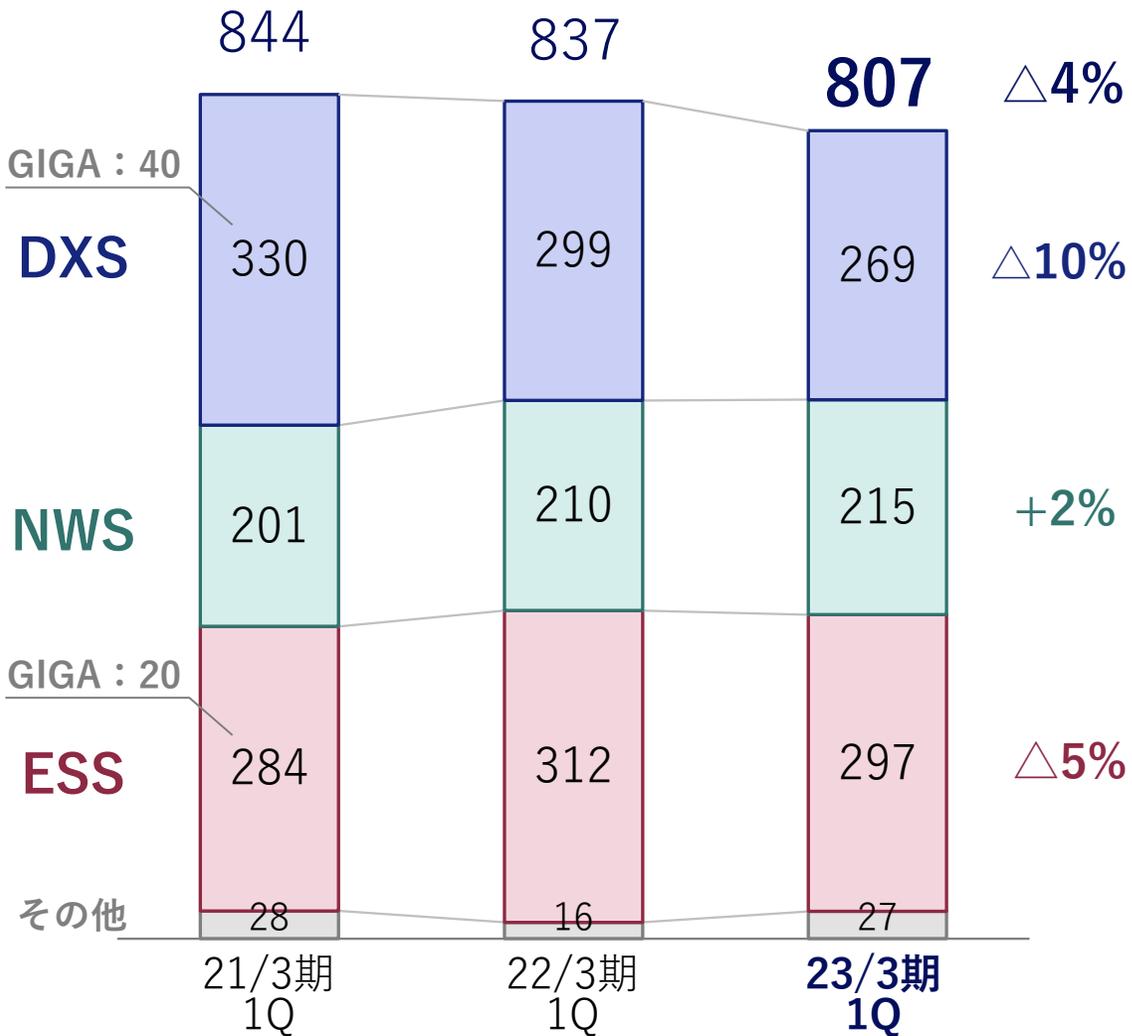


高収益案件が偏重した前期1Qから、GP率の実質改善が継続 (為替影響を除く)



2023年3月期 1Q セグメント別受注高

(単位：億円)



DXソリューション(DXS)

- 前期大型案件や、景況感を背景にした案件先送りなどが影響
- 官庁向けDX/働き方改革の引合いは継続

NWソリューション(NWS)

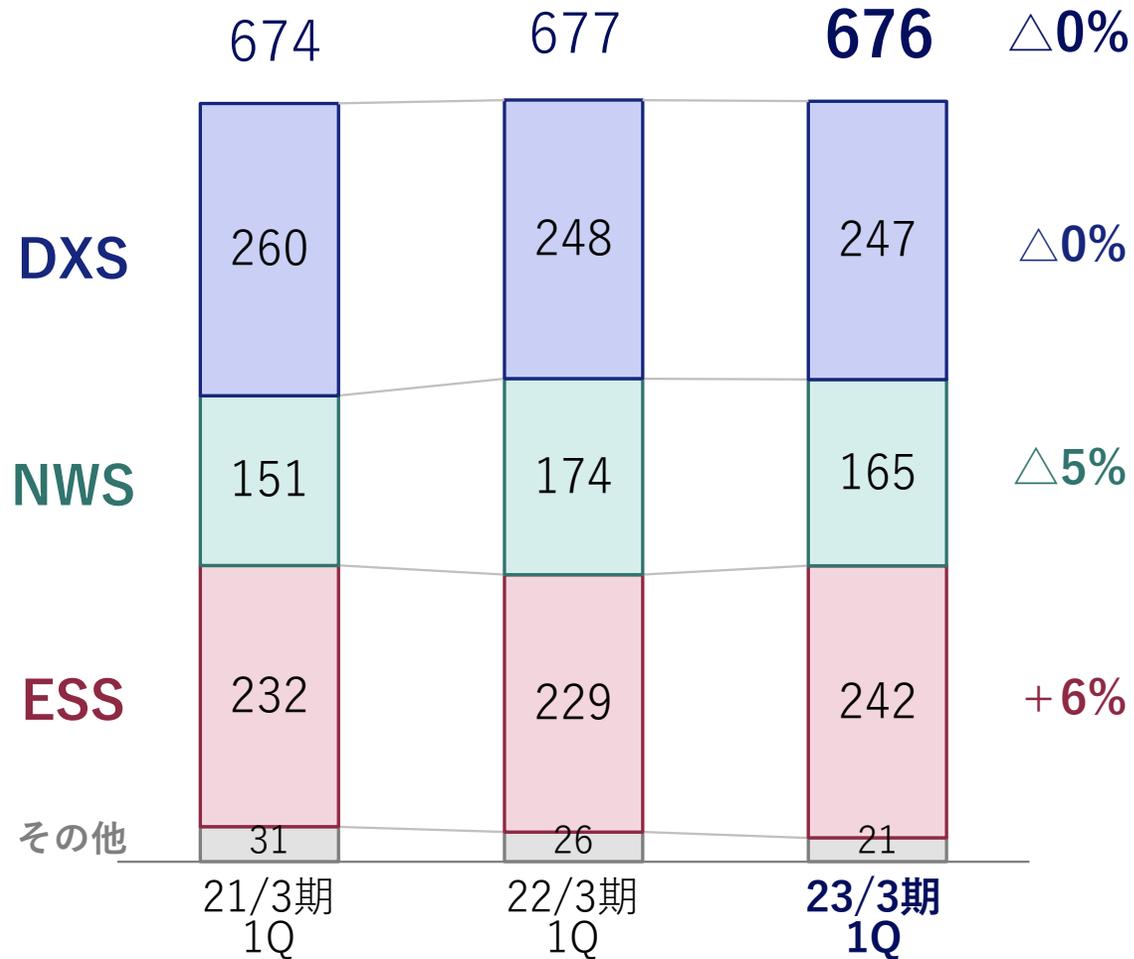
- 通信事業者向けは減少※も、ローカル 5 G関連が牽引し増加
- ※前期大型案件の影響：△20

社会・環境ソリューション(ESS)

- 大型案件が2Q以降に偏重の影響

2023年3月期 1Q セグメント別売上高

(単位：億円)



DXソリューション(DXS)

- サービス事業は拡大(+11%)

NWソリューション(NWS)

- 主に半導体/部材不足の影響

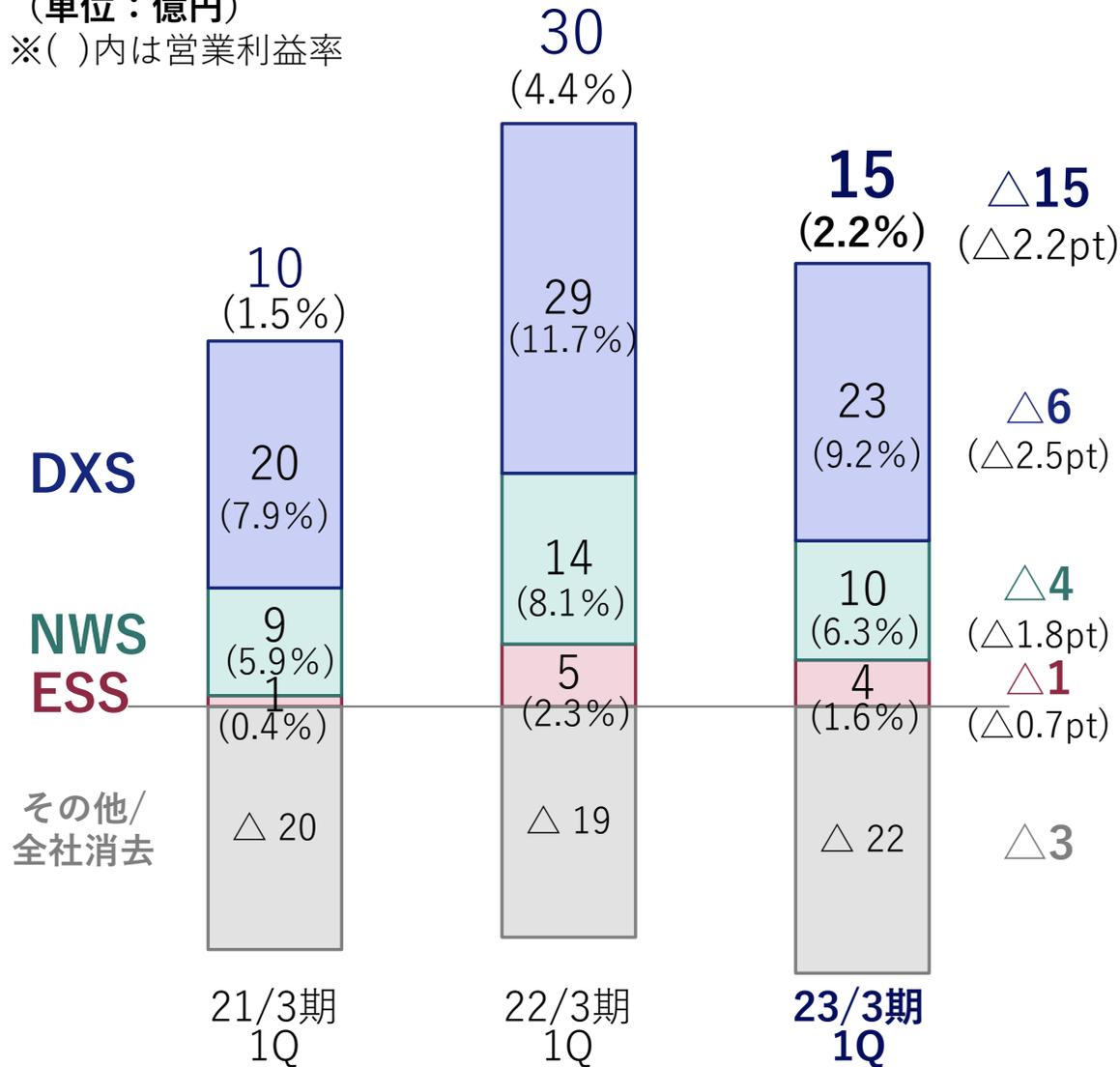
社会・環境ソリューション(ESS)

- 半導体/部材不足の影響ある中、受注残を着実に取込み拡大
 - ・ 施工事業が増加(交通等)

2023年3月期 1Q セグメント別営業利益

(単位：億円)

※()内は営業利益率



DXソリューション(DXS)

- 前期に好収益案件が1Qに偏重
および積極的な費用投入の影響

NWソリューション(NWS)

- 売上減、積極的な費用投入が影響
・ GP率は改善

社会・環境ソリューション(ESS)

- 急激な為替変動が影響
・ 為替影響除いたGP率は改善

その他

- 本社移転関連費用等が増加

(参考)セグメント別 売上総利益率

	22年3月期 1Q	23年3月期 1Q	前年同期差
DXソリューション事業	※ 22.6%	※ 21.0%	△1.6pt
ネットワークソリューション事業	20.7%	21.4%	+0.7pt
社会・環境ソリューション事業	15.0%	※ 13.9%	△1.1pt
全社	18.7%	17.9%	△0.8pt

※前期：好収益案件1Q偏重
 今期：為替影響

※今期：為替影響

2023年3月期 業績予想値について

(単位：億円)

	上期予想	前年同期 差/比	通期予想	前年差/比
受注高	1,730	+4%	3,500	+4%
売上高	1,470	+4%	3,300	+6%
営業利益	77	+1	260	+28
(営業利益率)	(5.2%)	△0.2pt	(7.9%)	+0.4pt
親会社株主に帰属する 当期純利益	48	+1	153	+3
(当期純利益率)	(3.3%)	0.0pt	(4.6%)	△0.2pt

為替影響は想定以上も 期初予想の達成を目指す

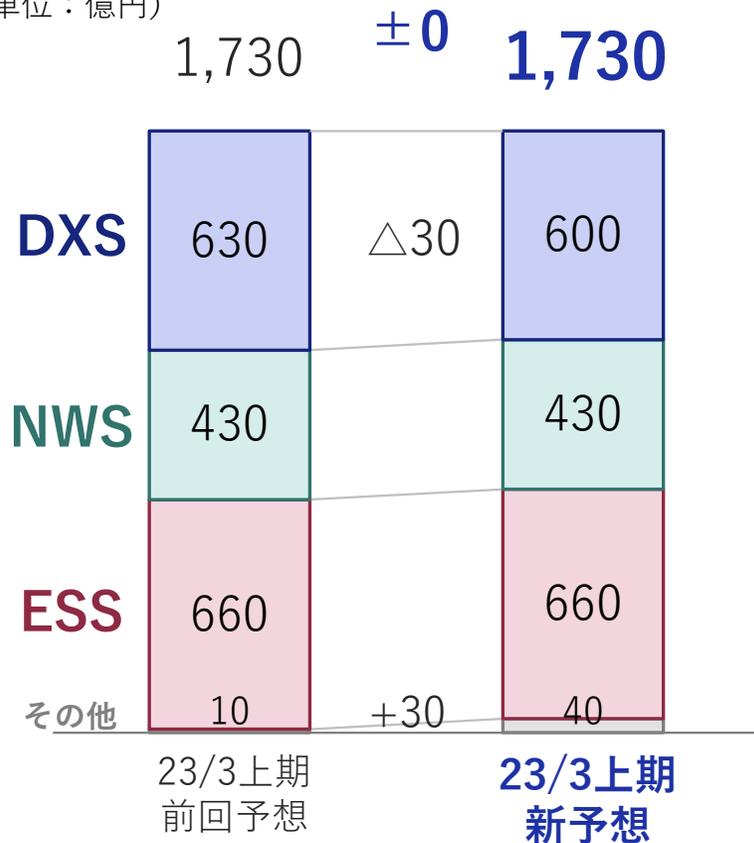
- 2Q以降に偏在する大型案件の確実な取込み
- 為替インパクトの売価転嫁
- 高付加価値化/DX活用による効率化を推進し、収益性を改善
- 不要不急の経費削減

2023年3月期上期 セグメント別業績予想

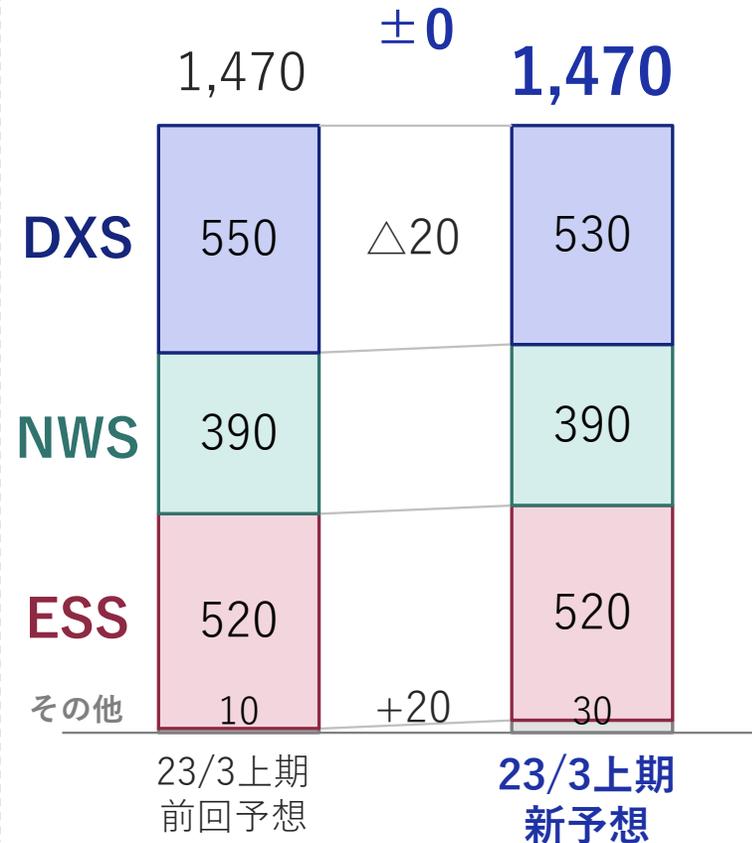
1Q進捗や為替影響を鑑み、上期セグメント別予想を修正

受注高

(単位：億円)

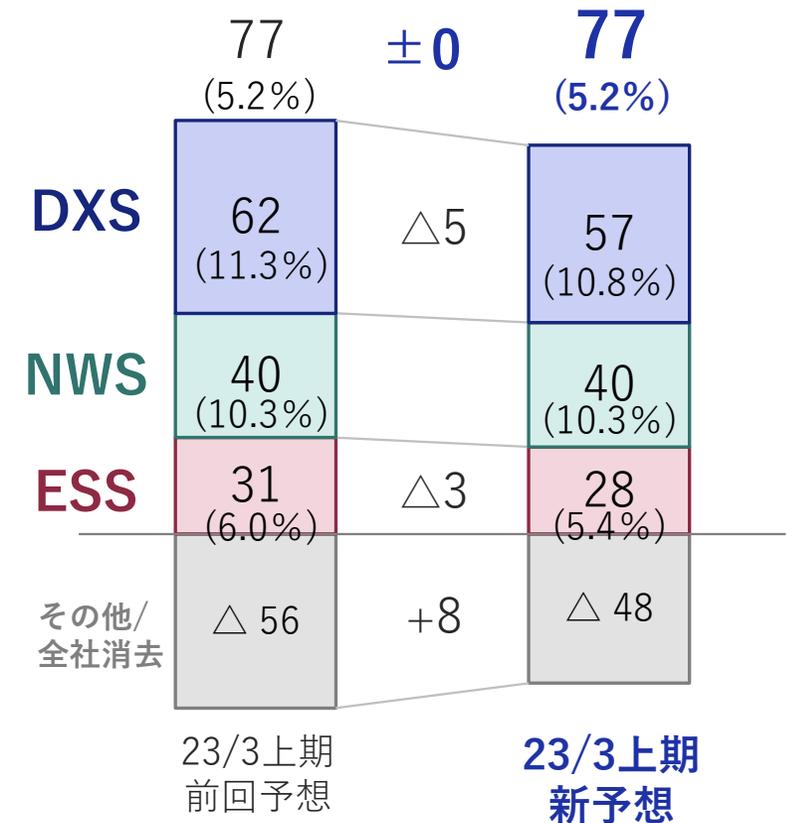


売上高



営業利益

※()内は営業利益率

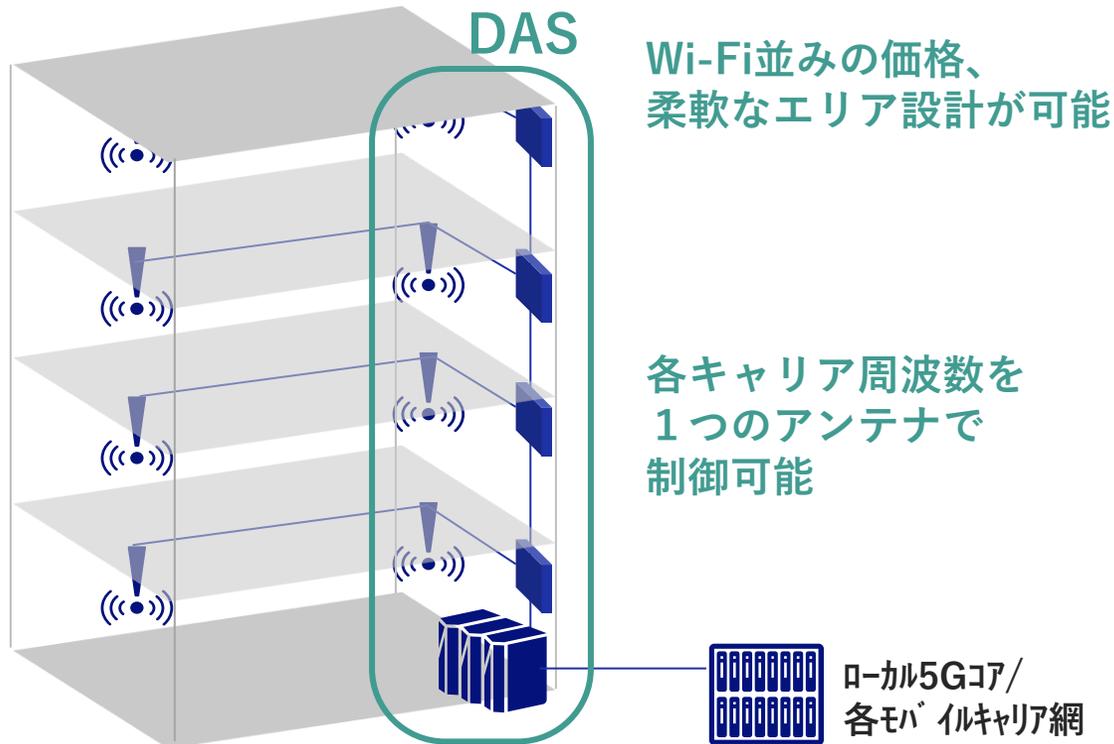


トピックス① インビルソリューションへの取組み

キャリア/ローカル5G×アンテナ分散(DAS)によるビル内NW構築

- ・ 韓国HFR社と提携し、アンテナ分散技術による5Gエリア拡大へ貢献

<インフラシェアリングイメージ>



DAS : Distributed Antenna System

<当社の取組み領域>

スマートビルディング

- ・ コア設備から基地局まで一気通貫でシステム提供(キャリア事業ノウハウ活用)
- ・ ローカル5G×DXサービス …働き方改革など

インフラシェアリング

- ・ 閉鎖空間へのキャリア5G網整備に向けたインフラシェアリング需要拡大の取込み
- ※モバイルキャリアの設備投資削減ニーズから市場拡大

トピックス② ESG投資の代表的な指数へ新たに選定

－ 世界的なESGインデックスに選定 －



FTSE4Good

－ GPIFのESGインデックスに選定 －

FTSE Blossom Japan Sector Relative Index、MSCI女性活躍指数(WIN)、S&P/JPX カーボン・エフィシエント指数に続く採用



FTSE Blossom
Japan

社会と協調して成長するサステナブル 経営による企業価値向上を推進

財務、非財務の有機的結合の実践

- ・ 新中期経営計画に非財務目標を組込む
(KPIマネジメント)

サステナビリティ推進体制の構築

- ・ サステナビリティ推進委員会の設置
- ・ カーボンニュートラル推進本部の新設

ESG情報開示の強化

- ・ TCFD賛同を表明/
TCFDフレームワークに基づく情報開示
- ・ Web、統合報告書の拡充

FTSE ESG レーティング

前回 3.2 ▶▶ 今回 3.9

(参考) 遡及開示、補足データについて

- ・新セグメントにおける**過年度の四半期遡及データ**
- ・**補足データ**(事業内容別やマーケット別など)

については、**以下のURLに掲載の補足データ集**をご覧ください。

<https://www.nesic.co.jp/ir/library/kessan/2023.html>

APPENDIX

(参考)2022年6月末 バランスシート

(単位：億円)

		22年3月末	22年6月末	増 減
	現金及び現金同等物	797	912	114
	受取手形及び売掛金	1,125	839	△286
	たな卸資産	108	116	8
	その他流動資産	111	112	1
流動資産合計		2,142	1,979	△163
固定資産合計		405	439	34
資産合計		2,547	2,418	△129
	支払手形及び買掛金	417	319	△98
	借入金	127	137	10
	その他負債	622	606	△16
負債合計		1,166	1,062	△104
	株主資本合計	1,352	1,322	△31
	その他の包括利益累計額	△5	△1	4
	非支配株主持分	34	35	1
純資産合計		1,381	1,356	△25
負債純資産合計		2,547	2,418	△129
自己資本比率		52.9%	54.6%	+1.7pt

(参考)2023年3月期 1Q キャッシュフロー

(単位：億円)

	22年3月期 1Q	23年3月期 1Q
営業活動によるキャッシュフロー (A)	231	163
投資活動によるキャッシュフロー (B)	△ 12	△ 17
フリー・キャッシュ・フロー (A + B)	219	146
財務活動によるキャッシュフロー	△ 28	△ 32
現金および現金同等物期末残高	875	912

本資料についてのご注意

本資料に記載されている将来の業績等に関する見通しは、将来の予測であり、確定的な事実に基づかないために、リスクや不確定要因を含んでおり、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績は、様々な要因の変化により記載の見通しとは大きく異なる結果となりうることをご承知おき願います。

実際の業績に影響を与えうる重要な要因は、当社グループの事業を取り巻く経済情勢、社会的動向、当社グループの提供するシステムやサービスに対する需要動向や競争激化による価格下落圧力、市場対応能力などであります。なお、業績に影響を与える要因はこれらに限定するものではありません。

本資料にある大型案件や為替影響およびそれらを除いた前年伸率/収益性などは概数で表記されています。

2022年4月1日の組織改正に伴い、2023年3月期よりセグメントを変更しています。本資料における2021年3月期および2021年3月期のセグメント実績は、これを受け、セグメント情報の比較のために組替えた数値で示しています。なお、2021年3月期の組替値は、監査を受けていない参考値です。



明日のコミュニケーションをデザインする

NEC ネットズエスアイは、お客様の目線に立った
これからのコミュニケーションをデザインする会社
としてお客様の価値向上に取り組んでまいります。

nesic

検索

\Orchestrating a brighter world

NEC

NEC ネットズエスアイ